私たちが直面する2つ気候変化

-地球温暖化とヒートアイランド-



1999年7月の「練馬豪雨」(1時間の降水量131ミリ)など、私たちが直面する身近な地域における気候変化、地球温暖化やヒートアイランド現象を科学的側面から分かりやすく解説します。

平成31年 **2**月 **3**日(日) **10:00-12:00**

会場 練馬区立区民・産業プラザ (Coconeri) 3階 研修室 1

講師 高橋 日出男氏 [首都大学東京大学院 教授]

定員 100名(申込順)

お申込み

メールまたは電話で、

- ①~④をねり☆エコ事務局までお知らせください。
- ① 講演会名 「省エネルギー月間 |
- ② 代表者の住所・氏名・電話番号
- ③ 参加人数
- ④ 講師への質問(ある方のみ)

ねり 食工 (練馬区地球温暖化対策地域協議会)事務局 公益財団法人練馬区環境まちづくり公社内





講演内容

地球温暖化とヒートアイランド現象は、まったく仕組みの異なる温暖化ですが、両者の根本は「人間の活動」という点で共通しています。

研究者たちは、地球温暖化の仕組みと気候変化の現状、そして不確実性の大きい将来 の気候変化を、どのような方法で予測・解明しようとしているのでしょうか。

また、都市の豪雨に研究者の目が向けられるきっかけとなった1999年7月21日のいわゆる「練馬豪雨」、そして2018年の猛暑など、東京都区部、とりわけ練馬区を中心とした都市気候の特徴について、気象観測データからどのようなことが見えてきたのでしょうか。

本講演では、私たちが直面している2つの気候変化「地球温暖化」と「ヒートアイランド現象」について、科学的側面から分りやすく解説します。

講師紹介









たかはし ひ で ま **高橋日出男 氏**

1959年東京生まれ、広島大学助手、東京学芸大学助教授等を歴任。 理学博士、首都大学東京大学院 都市環境科学研究科 地理環境学域 教授



会場案内図

